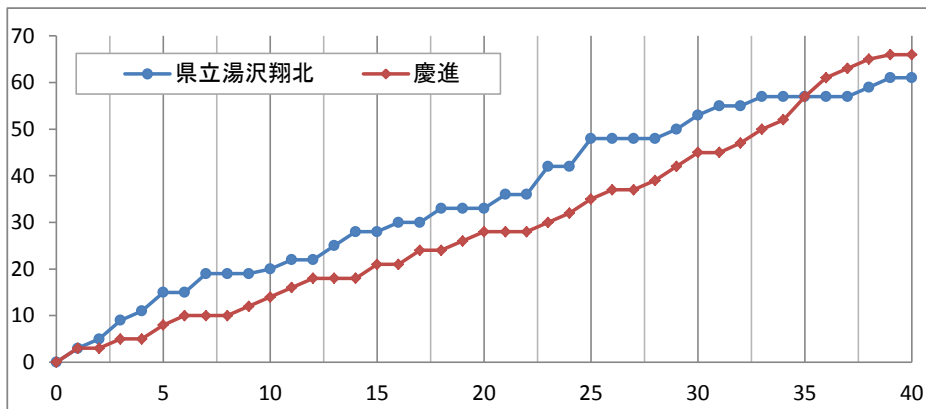


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

女子 1回戦 **県立湯沢翔北 61** **66 慶進**
 主審 比嘉 涼太 (秋田) ● ○ (山口)
 副審 工藤 雄一

No. 29j1 日時: 2013年7月29日(月) 9:30 会場: 杵築市文化体育館



県立湯沢翔北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	藤原 麻都	-	-	-	-	-
5	* 大野 真湖	19	0	8	3	2
6	松田 有紀	-	-	-	-	-
7	* 阿部 優美香 (C)	18	4	3	0	3
8	* 宮野 茉恵	6	0	3	0	1
9	最上 朝香	2	0	1	0	0
10	* 加藤 杏香	10	1	3	1	3
11	* 柴田 知恵	6	2	0	0	3
12	和泉 華音	-	-	-	-	-
13	高橋 美希	-	-	-	-	-
14	加藤 舞	-	-	-	-	-
15	松浦 まりん	-	-	-	-	-
コーチ	樋渡 真					
合計		61	7	18	4	12

慶進

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 松本 愛美 (C)	28	2	10	2	2
5	浅田 梨桂子	0	0	0	0	0
6	松岡 史菜	0	0	0	0	1
7	木下 果歩	0	0	0	0	0
8	* 藤岡 麻美	2	0	1	0	1
9	荒川 紗笑子	7	0	3	1	5
10	* 藤井 園子	12	4	0	0	2
11	藤永 望花	-	-	-	-	-
12	山下 理帆	-	-	-	-	-
13	* 池本 朱里	17	1	6	2	2
14	永久 結希乃	-	-	-	-	-
15	* 橋本 菜央	0	0	0	0	0
コーチ	村谷 勉					
合計		66	7	20	5	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

第1ピリオド。両チームディフェンスはハーフマンツースでスタート。序盤は湯沢翔北が厳しいディフェンスでペースをつかむ。#5の1on1やスティールからの速攻で得点を重ね、5分で13-5とリード。たまたま慶進がタイムアウトを取る。その後は慶進のディフェンスも機能し始め、#10の3Pや#13の個人技で加点し応戦。15-10と追いつがるが、湯沢翔北も途中交代の#9の得点などで点差を広げ、20-14で第1ピリオドを終了。第2ピリオド。互いに厳しいディフェンスで、一進一退の攻防が続く。湯沢翔北は#5を中心に徐々に加点。最大10点差をつける。対する慶進は#4#13の1on1やオフenseリバウンドで反撃を図り、#4の3Pで追い上げる。しかし湯沢翔北も#10の3Pで応戦し、33-28湯沢翔北リードで前半を終える。第3ピリオド。序盤は湯沢翔北ペース。#5のプレイが冴え渡り、連続バスケットカウントで点差を広げる。#7の3Pで5分までに最大13点差をつける。対する慶進はディフェンスをハーフマンツースから1-2-2ゾーンに変更リズムをつかもうとする。7分からはオールコートマンツースに切り替え、これが機能する。#4のスティールなどから得点し8点差まで追い上げ、53-45湯沢翔北リードで終了。第4ピリオド。終始、湯沢翔北が握っていた試合の主導権が慶進に渡る。慶進の闘志あふれるオールドマンツースが機能し、湯沢翔北に得点を許さない。#9のバスケットカウントで5点差に詰め寄る。さらに慶進#4の切れ味鋭いプレーが湯沢翔北を圧倒し、スティールからの連続バスケットカウントなどで5分で同点。6分には逆転に成功する。湯沢翔北も#5にボールを集め反撃を試みるが、慶進の堅い守りに阻まれる。湯沢翔北は#5#10のコンビプレイによる得点や、タイムアウト後の1-2-2ゾーンなどで最後まで挽回を図るが、慶進は最後まで集中力を切らさず、66-61で劇的な逆転勝利を飾った。

記載者 江藤 慶 (所属) 大分県バスケットボール協会